

# 本庄市文化団体連合会

ふんたいくわい

<広報紙第18号>

令和8年3月1日発行

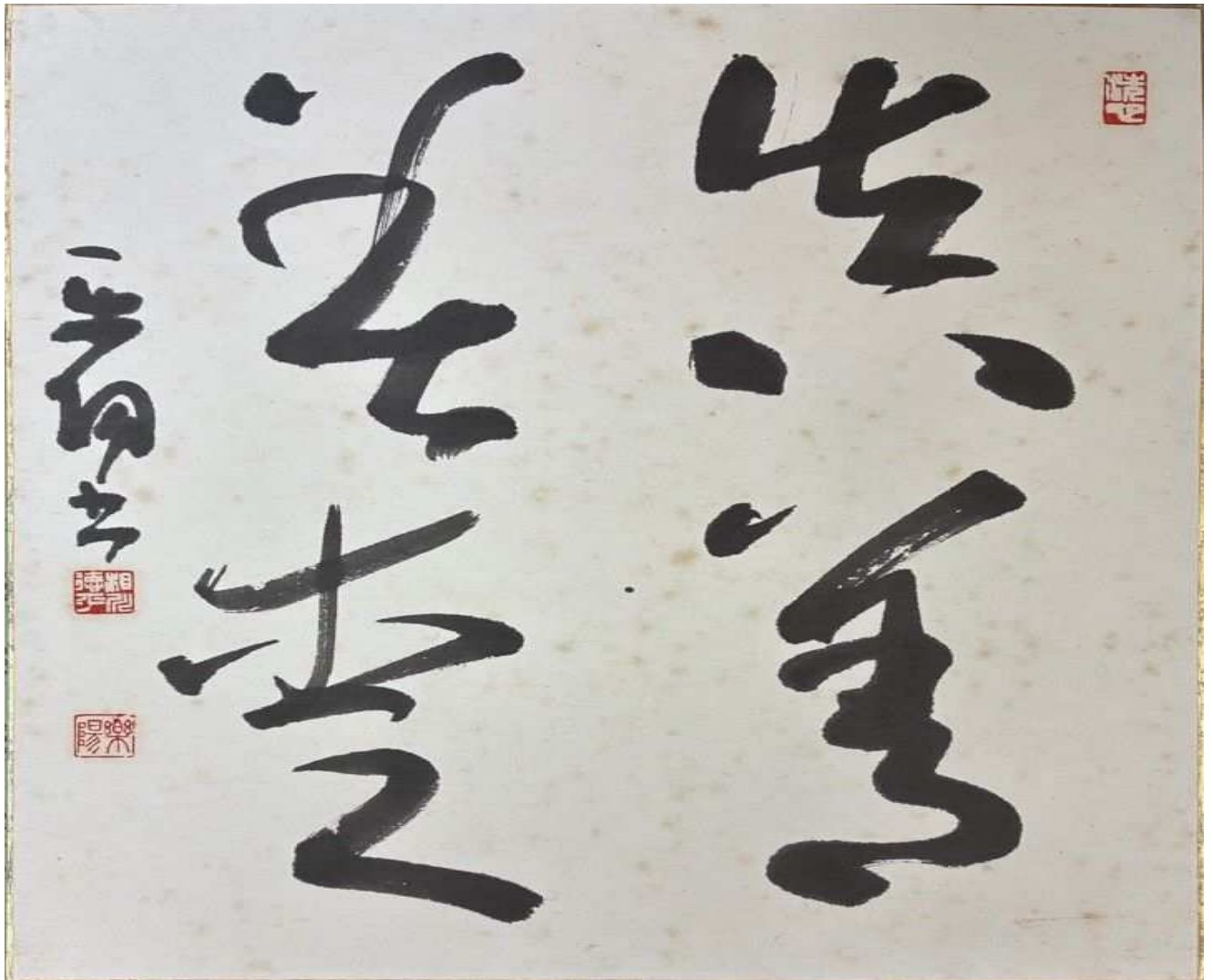
本庄市文化団体連合会

本庄市東台5丁目2番33号

(本庄公民館内)

TEL 0495-24-7383

FAX 0495-23-1677



あいかわ らくよう  
相川 楽陽

◇相川 楽陽（明治四十二年〜平成十三年）

教育者。書家。本名は相川徳平、上里町に生まれる。昭和二年県立本庄中学校を卒業後、東京府立青山師範学校に入り、翌年東京中野小学校訓導となる。

昭和十年頃より書道の研究を続け、初め藤田讃陽に師事し、書号を楽陽とした。次いで上條信山に学び奥義を究める。その後、中等教育の資格を取得し、本庄高等女学校教員、本庄高等学校教諭となる。

昭和四十六年に斉藤崧堂、岩本高陽、茂木一竹らと本庄市書道人連盟を結成して初代会長となり、第一回本庄書展を市役所ロビーにて開催。書を通して地域文化の向上に貢献した。紫雲書道会参与、書象会審査員、書道美術館評議員をつとめ、漢字・かな作品をよくし、日展入選三回のほか、毎日展秀作賞等に入賞。九十三歳没。

『本庄人物事典より』

4ページ上段に解説文あり

## ◇会長あいさつ



会長 市川 隆雄

今年度は一団体の入会があり、私たちにとっては喜ばしい限りでした。

十月には二年ぶりの文化祭が開催されました。展示部門では、盆栽、手芸、書道等、工夫を凝らした作品が数多く展示されました。

実演部門では、囲碁団体による囲碁体験があり、熱戦が繰り広げられました。

舞台部門では、日本舞踊や、吹奏楽の響きが会場内を盛り上げました。ベテラン組の団体も、昨年は中止を余儀なくされましたが、時を経て、熱のこもった発表となりました。

研修会では、本庄早稲田の杜ミュージアムの見学会を行いました。豊富な資料展示や、多種多様な埴輪が並べられていました。職員からの説明があり、奥深い歴史と文化に触れることができ、感銘いたしました。

自分自身にとって、文化活動は疲弊した心に、喜びや慰めを与え、元気づける力があります。

ると信じています。今後は、若い世代の仲間を増やし、一生涯の「宝」となる文化活動が広がることを、切に願っております。

## ○第十七回文化祭

二年ぶりとなる本庄市文化団体連合会文化祭が十月二十五日と二十六日の二日間、グローバルソフトウェア本庄文化ホールにて行われました。

初日は展示部門の作品が一階ホワイエとギャラリーにて展示されました。

二日目は開会記念式典が行われ、御来賓の方々から心のこもった祝辞をいただきました。式典後、午前中は民謡、日本舞踊、社交ダンスの舞台発表が行われました。午後は琵琶の演奏にてスタートしました。会場内は舞台に集中して、静まり返っていました。

その後は雰囲気が変わり、和太鼓の迫力ある演奏に会場が一体となりました。午後最後の吹奏楽の演奏では、アンコールの拍手があり、予定にない演奏が行われ、盛大な拍手のもと舞台発表が終了しました。二日間とも小雨の中、足を運んでくださった方々には感謝申し上げます。次回はセルディが会場です。今年以上に多くの方々にご来場いただきますことを願っております。



渋谷 玉秀

## ○研修会

今年度の研修会は、本庄早稲田の杜ミュージアムの見学会でした。市と大学が所蔵する豊富な資料による地域の歴史をグローバルな視点でとらえる展示を行っています。本庄展示室では、古墳と出土された埴輪について説明をうけました。

はにほんは、「石棺を守るために左右に置かれた盾持人物埴輪です。そして、展示されていた微笑んでいる女性の埴輪は、大変珍しいもの。」という説明を受けました。

次に、本庄二十周年の軌跡を二階の展示室で見て廻りました。二〇〇六年から現在までの軌跡は参加者の人生の軌跡に重なって映ったようで、皆新たな感動を味わったようです。

文化団体連合会では、今後もこのような研修会を通して、新たな発見を楽しんでいきたいと思えます。皆さんのご参加をお待ちしております。



木村 直弘

## ＜加盟団体紹介＞

### ◆本庄短歌会

本会は昭和二十二年に発足した歴史を持つ短歌会です。主な活動は毎月の勉強会、作品発表の場の短歌誌「不死鳥」の発行、文団連や公民館などの共催事業の参加などがあります。勉強会は次の四団体で実施していますので、短歌に興味があり、参加されたい方は都合の良い会にいつでも参加してください。募集しています。

①本庄短歌会 毎月第四土曜 午前九時三十分より本庄公民館

- ②みなづき短歌会 毎月第四水曜 午前十時より本庄公民館
- ③つわぶき短歌会 毎月第二木曜 午前十時より本庄公民館
- ④ウニクス短歌会 毎月第二水曜 午前十時三十分より上里ウニクス一階カルチャーセンター内

次に不死鳥九月号に記載の会員の作品を抜粋してみました。参考にしてください。

「亡き夫が庭に植えたる沙羅の木に今年も白き花の咲き初む」

「すっぱさをこらえる朝の梅干しに今日の元気の約束もらう」

「母の日のあの賑やかさ父の日は届いた酒を手酌で吞めり」



福井 謙次



#### ◆麓原会

麓原会の歴史は、昭和二十一年、古川弘先生をはじめ四名の画家で創設されました。生きているのに精一杯の時代「民主的で友情をもって、地域の美術文化の向上発展に寄与する」というものでした。さて現在、五十五名の会員会友で、年間を通して、次のような活動をしています。

七月：夏季展、デッサン会、互評会

十月：写生会、互評会

十一月：公募麓原展

三月：互評会、春季展

展覧会三回、勉強会五回です。十一月の公募展は、一般の人の応募出品がありますので、ぜひ御来場、また出品なさってはいかがでしょう。お待ちしております。



並木 千恵子

#### ◆爺サックス5

今年度より加入した爺サックス5です。音楽教室で出会った仲間五人のバンドです。はにぼんプラザで月三回練習しています。

老人施設や地域のサロン、音楽イベント等でボランティア活動を続け、喜んでいただき、応援も受けながら演奏しています。七十五歳を超えた爺さんですから腕前はそれなりです。

皆さんが楽しんで、我々も喜ぶことをモットーとしています。新人募集はしていませんが、仲間に入りたいたという人がいましたら拒みませんので、練習日にはにぼんプラザにお越しください。



百瀬 和明

#### ◆こだま民謡連合会

こだま民謡連合会は、流派の違いはありますが、間瀬会、塗会、佳三会の三会派で構成されています。年齢層は高いですが、頑張っています。

先日、第十七回文化団体連合会文化祭が開催されました。久しぶりの出演で緊張しましたが、楽しむことができました。

年を重ねることにより、健康状態を心配することもあります。皆でコミュニケーションを取りながら、心身ともに良い状態を保てるよう、活動しております。

このような状況ではありませんが、民謡に興味をお持ちの方がいらつしやいましたら、お稽古場を覗いてみてはいかがでしょうか。気軽ににお越しください。



和久井 節子

#### ◆児玉町社交ダンス愛好会

私達のクラブは創立以来、約半世紀が経っています。諸先輩方が伝授伝承してきて今日に至っています。しかしながら、コロナや高齢化により会員数も年々減少してきています。これからも会を存続していくために会員皆で頑張っていきます。

レッスンは毎週金曜日の十九時から二十一時まで、セルディ二階の大会議室で練習しています。興味のある人は是非お気軽に見学しに来てください。

当会の目的は、社交ダンスを生涯の趣味として、心と体の健康を保ち、ダンス技術の習得を目指すことです。会員達が楽しく美しく踊れるように、向上心を持って活動しております。

体を動かすことにより、筋力の弱まるのを防止し、頭を使うことで認知症にならないように努力しています。笑いの絶えない環境を作り、これからも公民館活動に全力で励んでいきたいと思っています。

吉田 豊彦

#### ◆本庄市書道人連盟

日本には古来より茶道、華道、書道など日本独自の優雅、典雅な美しい芸術があります。中でも書道は私たちの日常生活に直接つながる実用性の



谷矢 淳陽

芸術でもあります。「書は人なり」と言われているように、純白な紙を延べて淋漓とした墨色も鮮やかに書とし描かれる文字は、無味乾燥な記号から昇華して、人の心を和やかに潤す奥床しい芸術としての「書」を形づくっております。口の利き方、身のこなし方、身なりなど、外部に表れたもので人は他人の人の人柄を判断しますが、文字は書き手の人柄を端的に示す証文です。それ故に良い字を書きたいものと、日々研鑽努力をしております。書道を愛する人達で結成された書人連盟は書道文化の振興発展に貢献しつつ、会員相互の研修、郷土書道の啓蒙、開拓を図り、地方文化の向上に寄与し、書道芸術愛好者の親睦研鑽の会として、活動を続けております。

書道に興味のある方の入会をお待ちしております。

「真 善 美 愛」  
しんぜんびあい

真（しん）：嘘偽りのない  
真実や心理、知性。

善（ぜん）：道徳的に正しいこと、他者を思いやる心や慈しみの心。

美（び）：美しいさま、芸術や感性の理想的なあり方

愛（あい）：相手を大切に思う慈しみや、分け隔てのない心。

「真善美愛」、これらの価値観は、人間の理想や目標として探求される普遍的なものとしてされています。正反対の言葉は、「偽悪醜憎」となります。様々な情報が飛び交う現代、人の心もあらゆる感情に揺さぶられます。そのような時、「真善美愛」の心を思い出し、教えてください。原点に戻ること、見えてくる世界もあるのではないのでしょうか。

## 本庄市文化団体連合会加盟団体一覧

	団体名		団体名		団体名
1	本庄短歌会	7	児玉町社交ダンス愛好会	13	本庄虹の演劇鑑賞会
2	麓原会(絵画)	8	児玉盆栽会	14	錦心流琵琶全国一水会
3	本庄市書道人連盟	9	児玉茶道会	15	本庄シネマクラブ
4	風洞八木節保存会	10	本庄古美術愛好会	16	本庄ウインドシンフォニカ(吹奏楽)
5	こだま和太鼓会	11	日本棋院埼玉本庄支部	17	華道小原流
6	こだま民謡連合会	12	はぎれっ子(パッチワーク)	18	西川流扇生代会(日舞)
				19	爺サックス5

文化団体連合会加盟団体募集中！！  
文化祭、研修会等のイベントで絆も深まります！  
詳しくは本庄市文化団体連合会事務局（0495-24-7383）まで！

※本庄市文化団体連合会(略称:文団連)は本庄市で活動する 19 団体で構成された連合会です。  
ご興味のある団体がありましたら、本庄市文化団体連合会事務局(0495-24-7383)までお問い合わせください。

### ◇編集後記

本号をお読みいただきありがとうございます。

生活の営みの中に溶け込み、彩を添えてくれる舞踊、茶道、華道、書道、音楽、文芸等の様々な文化があります。それは伝統として大切に受け継がれたものもあり、新しく創造されたものもあります。そして、現在ではそれら各種の文化活動が活発に行われています。今後は、さらに質を高め、広めたいものです。

それには自分の属するジャンル以外にも関心を持ち、理解を深めることが必要で、視野を広げることになります。今日では年齢に関わらず心の豊かさが求められております。芸術文化こそ、これにつながるものと考えます。

### ◇編集委員

委員長 谷矢 淳陽  
副委員長 百瀬 和明  
委員 前川 延夫 和久井 節子  
高野 克己 西川 扇生代

### 発行所

本庄市文化団体連合会

(本庄市本庄公民館内)

電話 二四一七三八三